

おといねっふ 議会だより



【 おと高生がヘッドマークをデザイン ～「秋たび そうや」号～ 】

令和7年 第3回定例会

目次

第3回定例会 行政・教育行政報告	P 1 ～ P 5
第3回定例会一般質問	P 6 ～ P 7
第3回定例会で可決・承認された議案	P 8 ～ P 9
令和6年度一般会計ほか5会計決算審査	P 10 ～ P 11
第3回臨時会で可決・承認された議案	P 11
議会の動き	P 11

令和7年度

普通交付税額が確定

当初予算比で1.5%増

令和7年第3回定例会が9月9日に召集され、村長・教育長の行政報告、議員2名の一般質問の後、教育委員会教育長の任命を含む16件の議案等の審議を行い、会期を1日残し9月11日に閉会しました。

行政報告（要旨）

村長 遠藤 貴幸

●総務課関係

◇地方交付税

令和7年度普通交付税は、昨年度比2023万3千円増、当初予算比で967万円増の13億2967万円となった。

変動要因は、高等学校費で交付税上の教職員数の見直しにより1754万円増、道路橋梁費および包括算定経費で単位費用の見直しにより1352万円の増。地域デジタル社会推進費は、



マイナンバーカード保有率を用いた算定により、807万円減。

厳しい財政状況にあつて、交付税は貴重な財源。行財政運営に効率的かつ効果的に役立ていく。

◇第27回参議院議員通常選挙

選挙当日の有権者数は469名。投票率78・68%で、道内で

も最上位の投票率となっている。

今後も投票しやすい環境づくりに努めると共に、投票率向上に向け啓発活動を推進する。

選挙投開票において立会等に従事いただいた、皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げる。

◇ふるさと寄附

8月末時点で、一般のふるさと納税は、406件522万6千円。ホワイトアスパラを主体に、おといねっふ蕎麦および新！音威子府そばへの寄付が増加。今後も自主財源確保と魅力発信につながるよう努める。企業版ふるさと納税は、2社で120万円のご寄付をいただいた。

ご寄付は謹んで採納させていただきます、ご寄付の趣旨に添い有効に活用させていただきます。

◇JR宗谷本線の維持存続

JR単独維持困難路線である宗谷本線の経営改善の取り組みは、沿線自治体・関係団体とともに、令和8年度までを「第3期アクションプラン」として計画。確

実な実行と検証が以降の国の支援につながると思われる。本年度も利用促進の取り組みとして、観光列車を運行し、皆様のおもてなしもあり、目標を上回る利用者があつた。10月5日には「秋たびそうや」号も運行予定。また、実証事業として沿線住民を対象に特急料金の助成、高校・病院直通バスの運行、サイクルトレインの運行も計画。



観光列車 「秋たび そうや」号

◇地域活性化起業人の派遣

地域活性化起業人制度を活用した協定を締結。株式会社タレント・エンパワーメント、株式会社KAYAC SANKOから、それぞれ2名ずつ派遣いただいている。タレント・エンパワーメントは、人口増加施策・移住関連施策の一環として、本村の取材・魅力発信および教育関連施策の活性化を、KAYAC SANKOは、主にSNS情報発信支援と地域資源を活用したプロモーションの企画・実施を担ってもらう。地域の魅力を広く伝え、定住促進・雇用創出・地域ブランドの浸透を図り、デジタル発信力の強化と協働体制の確立を期待し、地域づくりを加速させる。

◇エコ・ミュージアムおさしまセンター

8月末までの入館者数は2500名を超えた。1日あたり来場者が100名を超える日もあり、安定した集客が続いている。企画展はこれまでに4展を開催



木遊館を利用するおと高生

し、地域おこし協力隊・光森隊員の企画力による集客効果も高まっている。今後も10月末の冬期休館まで多くの来場を期待し、企画展を継続して開催する。

◇山村・都市交流センター木遊館

8月末までの入館者が約400名に達した。プロジェクトマネージャーや地域おこし協力隊員の企画により、「おと高生」との関わりが増えたこと、村内外から気軽に参加できる雰囲気を作成したこと等の要因が挙げられる。今後も様々な発信を含め魅力的な施設運営を心掛け、多くの来場を目指していく。

◇木工芸の継承普及に向けた連携に関する協定について

7月7日、旭川市と「木工芸の継承普及に向けた連携協定」を締結した。本協定により両地域における木工芸技術の維持・確保・向上を目指す。今後は「おと高」の人材育成を軸に連携を深め、技能の継承と地域産業の発展を図るとともに、地域の伝統産業の持続可能性と若者の就業機会の創出を同時に達成することを目指し、地域資源を活かしたまちづくりを進めていく。

◇交通ターミナルチャレンジショップ

交通ターミナル内の空きスペースの有効活用と地域産業の振興を目的に、チャレンジショップを6月から開始した。第1号として旧駅そばスペースを活用した、村内事業者による立ち食いソバと蕎麦販売を開始し、1日300食を超える提供があったとの報告を受けている。9月中旬には旧バス事務所でのグル

ープ展の開催を予定。今後も中心部の活性化を図り、観光と地域産業の連携を強化していく。

◇鈴木北海道知事による本村訪問（なのみちカフェ）

地域課題を共有し施策へ反映する「なのみちカフェ」として、7月15日、鈴木北海道知事が山村・都市交流センター木遊館を訪問された。知事は箸作りを体験された後、地域おこし協力隊や地域プロジェクトマネージャーと意見交換を行った。

今後も北海道とともに地域資源を活用した連携強化と、多方面の施策実現に資する取り組みを推進していく。

●消防支署関係

6月22日、第54回名寄分会消防総合訓練大会を本村で開催するよう準備を進めていたが、前日までの降雨の影響により止む無く中止となった。大会出場に向け、連日にわたり訓練された団員の皆様には残念な結果となったが、次回大会以降での活躍を期待

している。

9月13日に「わくわく防災フェスタ」を開催する。降雨体験、浸水体験、放水体験等を通じて、防災、防火、消防業務等への理解を深めてもらうべく、多くのご来場をお願いしたい。

9月1日現在の消防団員数は25名で、定数40名に対する充足率は63%となっている。



「わくわく防災フェスタ」にご協力いただいた皆さんと参加者の集合写真

●住民課関係

◇交通安全・防犯

夏の全国交通安全運動が展開され、パトライトなどの啓発活動が行われた。

秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで実施される。夕暮れが早くなり、交通事故発生の危険性も高まる時期であり、関係機関及び交通指導員の皆様のご協力のもと、安全運転の徹底と交通法規遵守を促す。

◇戸籍の振り仮名通知

本年5月26日に戸籍法が改正され、戸籍記載事項に「振り仮名」が追加されることとなった。これに伴い、本村に本籍のある方に、戸籍に記載予定の「振り仮名」を通知した。通知が届いたら確認のうえ、誤りがある場合は、来年5月までに届け出ていただきたい。各種行政手続きとも連携するもののため、ご理解いただきたい。

◇各種健診

7月8日に国民健康保険被保険者・後期高齢者医療被保険者等

を対象に特定健診と各種がん検診を実施。延べ100名の受診があった。国民健康保険加入者総体の受診率は昨年度並みと予測している。今後も高い受診率の維持に向け、ご協力いただきたい。健診結果をご覧いただき、気になる点などがある場合は、保健師・管理栄養士がご自宅に伺い、健康相談・栄養相談等を実施することも可能。まずはご連絡をいただきたい。

●経済課関係

◇農 政

そばの作付けは6月中旬から播種が行われ、おおむね7月中旬に終了。8月の豪雨、強風等の影響により倒伏圃場がやや多い状況。平年より播種時期が遅れたため、刈取開始は9月中旬頃になる見込み。

フルーツトマトは、夏場の高温により生育が進み、6月下旬にピークを迎え、出荷量は計画並みで推移。北はるか農協全体で日量4000ケース程の出荷

で、12玉・15玉サイズが中心規格とのこと。9月より糖度9度以上の「はるか9」の販売が開始される。

さやえんどう・スナップエンドウは、夏場の高温と8月に入ってから連続した降雨によりガク枯れが多く、取扱数量は計画より少ない見込み。

すべての作物が病害等被害や台風等の影響を受けず、豊潤な秋を迎えられることを願う。



収穫を待つトマト

◇林 政

村有林整備事業は、立木売却事業を3月29日に発注し、村有林人工造林事業は6月11日に完了した。また村有林下刈り事

業は、6月19日に発注し、8月12日に完了。今後、保育間伐・枝打ち事業を11月に発注予定。有害鳥獣駆除は、8月下旬で

エゾシカ76頭、アライグマ28頭、ヒグマ3頭を捕獲。アライグマは昨年比の3・5倍となっている。また、クマによる人的被害が道内でも発生している状況から、引き続き、猟友会の協力をいただきながら被害防止に努めていく。警察、関係機関・団体と連携して注意喚起を図りながら、被害防止対策を実施していく。

◇商工観光

第3回森と匠の村ふるさと納涼まつりを公民館前特設会場で開催した。商工会会員の皆様、中川建設様はじめ村民有志の皆様にはお祭りの楽しさを提供していただいた。花火協賛金をいただいた商工会会員の皆様、バイパス協議会関係建設会社、音威子府村建設業協会、村外事業者の皆様のご協力により花火大会を実施することができた。心よ

り感謝申し上げる。また、会場設営等にご協力いただいた実行委員会の皆様を含む関係各位に対してもお礼申し上げる。

商工会が中心となり行うプレミアム付き商品券販売事業は、村内での消費を促し地域経済の活性化を図ることが目的。8月1日から販売開始となり、利用期間は令和8年2月20日まで。期間内のご使用をお願いする。



令和7年度のプレミアム商品券

主要事業の青少年宿泊研修施設1階床材貼替工事は、7月29日に入札執行、工期を10月31日までとし、工事を行っている。また、天塩川温泉女子浴室・男女脱衣室・食堂照明器具LED化工

事は、7月2日に完成し、工事検査も同日終了した。

◇土 木

主要事業である橋梁長寿命化修繕事業の村道音威子府神社線神社橋補修工事は、9月中旬までには完成予定。村民の皆さまにはご不便をおかけするが、ご理解をいただきたい。

村道維持補修関係工事は、随時、危険箇所等の維持工事を実施しており、限られた予算の中で有効的に執行していく。

北海道開発局関係工事では、令和4年度より実施している天塩川改修工事のうち、音威子府下流築堤外工事について、現在、護岸工事を施工中。堤防を利用する皆様にはご迷惑をおかけするがご協力をお願いしたい。

音威子府バイパス関連事業工事は、音威子府舗装工事・箴島舗装工事も順調に推移し、トンネル内道路付属物設置工事も10月下旬に完成予定。道の駅東側に現在建設中の除雪ステーション第1・

第2車庫は、年明け1月下旬には完成する予定で進められている。令和7年度中供用開始に向け各種工事も最終段階となっている。

今年度も、バイパス・河川改修工事関係建設会社による地域貢献事業として、村内公共施設等の維持補修等を実施していただいた。心より感謝申し上げる。



建設が進む除雪ステーション車庫

◇上下水道

計量法に基づく水道メーター交換工事を施工中。8月に満期となるメーターの交換は完了した。9月に満期となる公民館等についても、9月中旬に交換工事を施工し10月末には検定を終わらせる工程で進めている。

4月1日より着手の公営企業会計包括事務支援委託業務については、令和6年度事業会計決算作成に係る支援よりスタート

教育行政報告（要旨）

教育長 高橋 利玄

●学校教育関係

◇幼稚園教育関係

夏休み前の7月に七夕会を開催。子どもたちが短冊に願いを込めた。8月28日には、中川町の幼児センターへ赴き、園児交流会を実施した。交流を深めるとも



笑顔はじける「七夕会」

した。公営企業会計決算については、複雑な科目の整理や適正な試算表の取りまとめなど多岐にわたる作業を要するため、委託先に

に給食も体験させていただき、有意義な時間となった。9月6日には、秋の親子遠足で名寄市の健康の森を訪れた。園児たちは行事を通して心身ともにたくましく成長している。9月27日には幼児センター運動会が予定されている。運動を通じてさらに成長することを期待している。

◇義務教育関係

8月25日から配食サービスを開始した。配食サービスの名称は、児童・生徒・保護者・教職員からの応募の中から「おとらんち」に決定した。実施にあたり関係各位のご協力に感謝するとともに、今後も食育の観点を重視し、安心・安全でおいしい「おとらんち」の提供に努めていく。7月12日には土曜参観が行われ、子どもたちの明るく元気な

は、財務諸表の整合性と決算手続きの適正性を重視し、資料整備を主導していただいた。また、日常的な会計事務においても、



輪になって「おとらんち」

活動の様子を保護者の方々にご参観いただいた。

少年の主張上川地区大会が旭川市の上川合同庁舎で7月18日に開催され、音威子府中学校3年生の佐藤伶音さんが出場し、「人間の弱さの克服を」と題した意見を力強く発表された。小中学校の学芸祭は9月20日

サポートいただいている。今後は、予算作成に向けた作業の支援をお願いする。以上、行政報告とする。

に開催予定。児童・生徒および教職員は本番に向けて練習と準備に励んでおり、実り多い学芸祭となることを期待している。

◇高等学校教育関係

生徒募集の一環として開催している木の手づくり展は、旭川会場が6月28日～29日、札幌会場が7月25日～27日で開催。卒業生・在校生の作品約200点の展示や学校紹介、個別相談を行い、両会場合わせて約800

名の来場があり、本校の特色ある教育活動を広く発信できた。



木の手づくり展 札幌会場（学校紹介の様子）

7月19日～20日には学校祭を開催し、学年ごとの舞台発表、軽音部や有志の発表、工芸品販売など、多彩なプログラムで盛り上がりを見せた。

高文連道北支部美術展は8月27日～29日に美深町で開催され、本校からは美術部53名、工芸部26名が出席。入選22点、佳作7点という成績を収めた。入選作品は10月に開催される全道高文連美術展へ出展される。全国から生徒を募集する公立

学校合同説明会「地域みらい留学フェスタ」が大阪と東京で実施され、2会場で計56組の親子と個別相談を行った。また、埼玉県で開催された「彩の国進学フェア」へも6年ぶりに出展し、

20組の親子と面談した。現地では在校生保護者にもご協力いただき、遠方へ子どもを送り出す心情や入学後の成長について親の立場から話していただき、本校の魅力や地域で学ぶ意義を伝えてきた。今後の出願者増加につながることを期待している。

高大連携事業の一環として、2年生を対象にしたデザインスクールが9月10日～12日、東海大学札幌キャンパスで実施される。本校向けに特設されたカリキュラムを受講することで、生徒の美術・工芸の資質向上やキャリア教育に資する貴重な機会となると考えている。道内外の中学生を対象とした一日体験入学は9月27日に開催予定。現時点では77名の申し

込みがあり、そのうち中学3年生が51名。今年度並みの受験者数を期待している。



おと高 一日体験入学の様子（9/27開催）

●社会教育関係

「フイールドくらぶ」は5月10日の第1回以降、8月までに4回実施した。今後も遊びやスポーツなど工夫した活動をおし、子どもたちの心身の成長を図りたいと考えている。

放課後子ども教室の8月末までの利用延べ人数は624人となった。夏休み期間中には、福祉交流拠点地域複合施設「ときわ」の入居者とのゲームを通じた交流や土里夢の会の皆さんとのパ

ン作りなどを行った。安全で安心な居場所の確保とともに地域住民との交流が図られ、有意義な活動となっている。7月から地域活性化起業人制度や地域おこし協力隊の活用によりスタッフ体制も充実しており、今後一層の充実に努めていく。



仲良く勉強（放課後子ども教室）

●社会体育関係

7月6日に村民運動会を開催し、村民が一堂に会して運動を通じた地域の連帯と交流を図った。今年も地元企業やバイパス関連企業の皆様から多くの景品をご提供いただき、この場を借

りて改めて御礼申し上げる。来年も天候に恵まれて開催できることを期待している。

夏休み中の15日間、規則正しい生活習慣と健康維持を目的に、夏休みラジオ体操を実施した。1日平均40・5人、延べ608人の参加があり、過去最高の参加者数となった。参加者は増加傾向にあり、村民の生活に定着してきたことを実感した。来年度も継続して実施したいと考えており、親子での参加や地域の仲間同士で誘い合いながら、一人でも多くの地域住民の参加を期待したい。

以上、教育行政報告とする。



住民同士の交流が図られた村民運動会

令和7年第3回（9月）定例会 一般質問

「ヒグマ対策について」

質問者
答弁者

玉田 健 議員
遠藤村長

玉田議員

ヒグマの出没状況をどう把握し、住民にどのように情報公開しているか。

村長

名寄警察や住民からの通報により把握し、担当課で記録、職員が現地見回りを実施している。特に危険な場合は猟友会とも情報共有している。人家が近い場合は戸別訪問も行うが、看板を設置して注意喚起している。今後は、ICT等を活用した周知も検討したい。



玉田議員

過去5年間のヒグマによる被害状況を教えていただきたい。また、駆除計画頭数（上限10頭）をさらに増やすなど、再検討する考えはあるか。

村長

計画頭数の上限は令和5年度から10頭（捕獲許可は5頭）に変更している。

令和2年と今年度、牧草ロールがクマの爪で引つかかれた被害が報告されているが、ヒグマと断定できる具体的な被害は現状ほとんど報告されていない。

目撃情報は増加しており、見直しは検討に値するが、実際の捕獲頭数や農作業等のタイミング等も考慮し、猟友会や農家との意見交換を通じて慎重に検討したい。

玉田議員

新たにできた市街地緊急銃猟制度について、村として活用する予定はあるか。万が一の際、村長は発砲許可の判断をするか。

村長

実施する予定で準備を進めており、対応マニュアル整備、ハンター選定などを協議中。年度内を目標に体制を整備したい。

体制整備が完了し、制度周知

後、市街地に出没した場合は、村長の判断により、あらかじめ委託したハンターに対し発砲要請を行うことは十分に考えられる。体制が整うまでは、従来どおり警察官職務執行法による駆除を要請する。

玉田議員

市街地への出没を防ぐため、ゴミ対策の徹底周知に加え、公共施設や通学路に熊スプレーや熊鈴を常備し、貸し出すなどの対策を検討すべきではないか。

村長

回覧等でゴミ出しや夜間早朝の外出への注意喚起を今後も更に強化していく。

施設ごとに立地などが異なるため、統一的な対策は未検討。スプレー等の常備・貸し出しは、緊急的な対処が求められる中にあるため現実的なのか、使用の難しさも含め幅広く検討したい。

教育長

学校においては、北海道教育委員会からの通知に基づき、学校と教育委員会が連携し、生徒の安全確保のための取り組みを適切に実施していく。

村長

村民の安心安全のための対策を検討していくのは当然だが、全国的な被害状況を鑑み、今後は町村会などを通じて、国や道に抜本的な対策をしっかりと求めていく動きも行っていく。

令和7年第3回（9月）定例会 一般質問 「高校の工芸部門の専門的な講師について」

質問者
答弁者

小西邦広 議員
高橋教育長

小西議員

工芸科のある高校で、工芸の資格を持つ教員が1名のみで、他は美術教員が担当せざるを得ない現状について、教育長はどのような考えか。



教育長

現在、工芸担当教員6名のうち、工芸免許を持つのは1名。他の5名は美術教員で、免許外教科担任許可申請をして指導にあたっており、教員に大きな負担をかけている。

工芸科の専門性や安全確保の観点から、大きな課題であると認

識している。北海道全体で工芸免許教員が少ないため、確保も難しい実態があるが、北海道教育委員会に対し、確実に1名を配置していただくことはもちろん、複数名の配置を含めて引き続き強く要望していく。

小西議員

美術教員が木工機械などに慣れるまでには時間を要するとともに、慣れない機械に不安を抱えている実態も聞く。専門性の高い指導をする高校として、専門的な知見を持つ部外講師などを採用する考えはあるか。



教育長

美術教員の不安や機械に慣れるまでの苦労などの厳しい状況

は承知している。また、専門性の高い授業に時間講師を配置し、教育内容の充実を図っている他校の事例も承知している。

現在は東海大学と連携し、出張授業やデザインスクールを実施しているが、今年7月に締結した旭川市との「木工芸技術継承普及連携協定」に基づき、生徒だけでなく教員に対する実技指導も実施する予定である。

これらにより、授業の質の向上を図り、専門的知見に触れられる体制を整えたい。

小西議員

生徒のスキルアップのためにも、より専門的な講師の採用をぜひ検討していただきたい。部活動の外部指導員として地域人材が関わっている現状もあるが、お考えはいかがか。

教育長

生徒の技術習得と想像力を育む観点から、より専門的な知見

を有する講師を採用・招聘し指導を受けることは必要だと考えている。

今後は、工芸の免許を持つ教員の配置を引き続き強く要望しつつ、生徒や教員の技術向上に向けて、美術工芸分野で活躍する卒業生や地域の人材なども含め、講師として招きながら、工芸技術のさらなる向上に向けた配置を検討したい。



小西議員

おといねっぶ美術工芸高校の未来を考え、予算も含めた中でより専門的な講師・工芸有資格者の採用に努めていただくよう強く要望する。（答弁不要）

可決・承認された議案

【議案第32号】

音威子府村教育委員会教育長の任命について

教育委員会教育長の任期満了に伴い、高橋利玄氏の再任について、議会の同意を求めるもの。

(原案どおり同意)



再任された高橋利玄教育長

【議案第33号】

音威子府村教育委員会委員の任命について

教育委員会委員の任期満了に伴い、北原郁子氏の再任について、議会の同意を求めるもの。

(原案どおり同意)

【議案第34号】

音威子府村職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

「地方公務員の育児休業等に関する法律」の改正に伴い、関連する本条例の一部を改正するもの。

(原案どおり可決)

【議案第35号】

音威子府村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

「地方公務員の育児休業等に関する法律」及び「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」の改正に伴い、関連する本条例の一部を改正するもの。

(原案どおり可決)

【議案第36号】

北海道市町村総合事務組合規約の変更について

地方自治法第286条第1項の規定により、組合を構成する各自治体等での決定が必要となることから、同法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

(原案どおり可決)

【議案第37号】

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

地方自治法第286条第1項の規定により、組合を構成する各自治体等での決定が必要となることから、同法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

(原案どおり可決)

【議案第38号】

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について

地方自治法第286条第1項の規定により、組合を構成する各自治体等での決定が必要となることから、同法第290条の規定により議会の議決を求めるもの。

(原案どおり可決)

【議案第39号】

令和7年度音威子府村一般会計補正予算(第4号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2800万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ28億円とするもの。



◎主な補正内容

【歳入】

・地方交付税の増

1824万4千円

・過年度障害者自立支援給付費国庫負担金の増

90万円

・物価高騰対応重点支援

地方創生臨時交付金の増

520万5千円

・音威子府救急内水排水場

操作委託金の増

90万円

・基金繰入金の減

△432万5千円

・雑入(建物災害共済金の増

698万5千円

【歳出】

・村営アパート修繕費の増

698万5千円

・奥道北自転車活用推進協議会

負担金の増

65万円

・委託型地域おこし協力隊

業務委託料の増

180万円



地域おこし協力隊、地域活性化企業人の皆さん

・地域活性化企業人負担金の増

935万円

・定額減税補足給付金の増

100万円

・物価高騰対応重点支援

地方創生臨時推進事業

診療所光熱費支援金の増

500万円

・音威子府救急内水排水場

操作委託金の増

90万円

・小中学校修繕費の増

61万3千円

・高校寄宿舎備品購入費の増

130万円

(原案どおり可決)

【議案第40号】

令和7年度音威子府村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ91万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ9331万4千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・繰越金の増

91万4千円

【歳出】

・需用費の増

20万円

・予備費の増

71万4千円

（原案どおり可決）

【議案第41号】

令和7年度音威子府村介護保険特別会計補正予算（第1号）（保健事業勘定・サービス事業勘定）について

算の総額をそれぞれ8128万2千円とし、サービス事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ338万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3558万3千円とするもの。

◎主な補正内容

※保険事業勘定※

【歳入】

・繰越金の増

708万2千円

【歳出】

・備品購入費の増

50万円

・償還金利子及び割引料の増

276万8千円

・予備費の増

381万4千円

※サービス事業勘定※

【歳入】

・繰越金の増

338万3千円

【歳出】

・予備費の増

338万3千円

（原案どおり可決）

【議案第42号】

令和7年度音威子府村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ216万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1696万4千円とするもの。

◎主な補正内容

【歳入】

・繰越金の増

37万4千円

・北海道後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金還付金の増

179万円

【歳出】

・予備費の増

209万4千円

（原案どおり可決）

【議案第43号】

令和7年度音威子府村簡易水道事業会計補正予算（第2号）について

収益的収入及び支出第1条収入第1款簡易水道事業収益に15万3千円を追加し4446

万8千円に、支出第1款簡易水道事業費用に7万8千円を追加し4242万1千円に、資本的収入及び支出第2条支出第1款資本的支出に7万5千円を追加し3600万6千円にするもの。

◎主な補正内容

【収益的収入】

・一般会計繰入金の増

15万3千円

【収益的支出】

・企業債利息の増

7万8千円

【資本的支出】

・工事請負費の増

11万円

・元金償還金の減

△3万5千円

（原案どおり可決）

【意見書第4号】

「国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書（案）」の提出について

提出者 杉山 均

賛成者 玉田 健

（原案どおり可決）

【発議第3号】

閉会中の調査の申し出について

閉会中に、住民福祉（子育て支援・医療・介護・福祉）の現況と課題の調査、及び人口減少問題に関する施策の検証と課題整理について調査が必要なため。

（原案どおり可決）

多くの皆さんに
傍聴いただきました



傍聴に来てくれた地域の皆さん

9月定例会には、多くの皆さんが傍聴に来てくれました。ありがとうございます。本会議は、どなたでも傍聴できます。団体での傍聴も可能ですので、ぜひお声かけください。

多くの皆様のお越しをお待ちいたしております。

令和6年度一般会計など 全6会計を決算認定

一般会計ほか5会計の決算審査はこれまで、決算審査特別委員会に付託されていましたが、本年度から本会議において審議することとし、9月10日と11日の2日間で集中審議を行い、全会一致で認定となりました。

【主な質疑内容（要約）】

◎施設管理人等の施設使用料について

議員：旧高齢者生活福祉センターの使用料の内訳を確認したい。

村：入居者部門使用料は、現在地域おこし協力隊等が入居している部分で、令和6年度は2名分。途中入居のため12ヶ月分ではない。入居者部門管理人室使用料は、管理人が使用している部分で、12ヶ月分の使用料。

議員：高校寮の賄いを請け負っている者が住居として使用している部屋の使用料は徴収されないかと思われるが、整合性がないのではないかと。

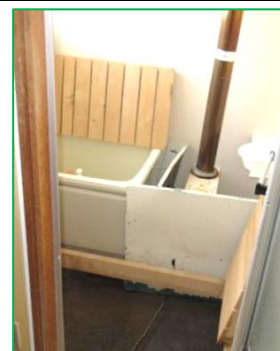
村：これまでは徴収していない。業務内容は異なるが、何が適正か、今後の検討課題としたい。

議員：個人が使用するスペースは徴収する方向が望ましいと考える。検討課題とされたい。

◎教員住宅の改修について

議員：教員住宅のユニットバス化の年次計画、現在の改修状況、および今後の計画は。

村：教員住宅や村営住宅等を含め10年で計画。教員住宅については、令和6年度に2戸実施し、残り2戸が未実施。残りの2戸は昭和50年代初めの建築で老朽化しており、総合的に判断し



教員住宅浴室【改修前】



【改修後】

て入居されない可能性があるため、改修しない予定。

住環境整備は重い課題と認識している。

◎定住化促進事業（住居設備補助）について

議員：村営住宅等で給湯器やストーブ等の生活に必要な最低限の設備が未整備のため、入居されないケースがあると聞く。中長期の居住も含め、定住化に向けた購入補助を検討してはいいかがか。

村：村で設備を整えるのか、個人

に補助を出すのか、難しい問題。いずれにしても、移住・定住、関係人口増加に向けて重要な取り組みと考える。皆様の意見を聞きながら、適宜検討していく。

議員：空き家にするよりは、最低限の設備を整えて入居してもらった方が良かったため、今後の検討課題の一つとして要望。

◎インターン制度について

議員：インターン制度の目的がわかりづらい。本来の目的と最終的な目標は何か。

村：目的は、一般的な就業体験ではなく、地域外の方々との関わりを持ち、関係人口作りに力点を置いて行っている。来訪者が



インターン生と職員とのワークショップ

テーマを設定し、地域に還元できるような提案を行っている。

議員：最終的にこの制度はいくまで続けるつもりか。

◎地域プロジェクトマネージャについて

議員：地域プロジェクトマネージャの具体的な使命は何か。

村：村の美術・芸術全般（エコミュージアムおさしまセンター、木遊館、おといねっふ高校、伝統文化など）と、その魅力の開発・発掘・連携。具体的には、施設の改善、来場者数の増加など。

議員：1年経過した成果と問題点、2年目に向けての具体的な目標設定が必要ではないか。

村：アトリエ3モア、木遊館では、定量的な成果は一定程度あった。足りない点として、地域の方たちとの対話（交流）ができていない点があげられる。

今後、対話の機会を検討し、目標を立てていく。

◎小中学校、高校の冷房設備について

議員…令和6年度は小中学校の教室に冷房設備が整備されたが、職員室に整備する予定はあるか。

村…職員室へは、令和8年度に設置したいと計画中。

議員…高等学校の冷房設備についての見解はどうか。

村…寮含む高等学校は冷房設備が整っており、生徒には我慢してもらっている。補助金等の関係で苦慮している状況もあるが、環境改善が必要のため、来年度予算に向けて検討したい。

第3回臨時会を開催

令和7年第3回臨時会が10月28日18時00分とするもの。

◎主な補正内容

30日に召集され、令和7年度一般会計補正予算について審議を行い、同日閉会しました。

可決・承認された議案

【議案第43号】

令和7年度音威子府村一般会計補正予算（第5号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1800万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ

議会傍聴しませんか？

村議会本会議は、受付で名簿に住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。

ただし、傍聴規則は必ず守っていただきます。

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）あり、日程はその都度、回覧等でお知らせしています。



（原案どおり可決）

・地域活性化企業人負担金の増

118万6千円

100万円

修繕費の増

・テレビ共同受信施設等

98万4千円

修繕費の増

・天塩川温泉駅駅名標ほか

1397万円

設置工事費の増

・箴島地区水道膜ろ過装置

【歳出】

・基金繰入金の増

1630万4千円

・地方交付税の増

118万6千円

議会のうごき

【9月】

10日 例月出納検査

役 場 （関係議員）

【10月】

2日～ 3日 上川管内町村議会議長研修会

南富良野町 （議長）

9日 北・北海道高速交通フォーラム

中川町 （正副議長）

10日 例月出納検査

役 場 （関係議員）

17日 上川北部市町村議会議長会（9月定例会）

美深町 （議長）

24日 北海道議会議員 今津ひろふみ 道政報告会

士別市 （議長）

30日 村議会第3回臨時会

議 場 （全議員）

【11月】

1日 音威子府村文化祭

公民館 （議長）

参議院議員 東野ひでき 国政報告会

名寄市 （議長）

5日 音中道路（国道40号バイパス道路）視察

村内/中川町 （全議員）

6日～ 7日 上川管内町村議会議員研修会

旭川市 （全議員）

11日～12日 第69回町村議会議長全国大会

東京都 （議長）

12日 例月出納検査

役 場 （関係議員）

12日～15日 上川管内町村議会議長現地研修会

埼玉県他 （議長）

第4回定例会 12月17日 開会（予定）